

ラインジャッジマニュアル

大阪高体連バレーボール専門部
審判委員会

【レベル0（徹底事項）】

①立つ位置（コーナーから2m）

②構え方

ラリー中はひざをやや曲げる。旗を出すと同時に姿勢を正す。

③フラッグ・シグナル

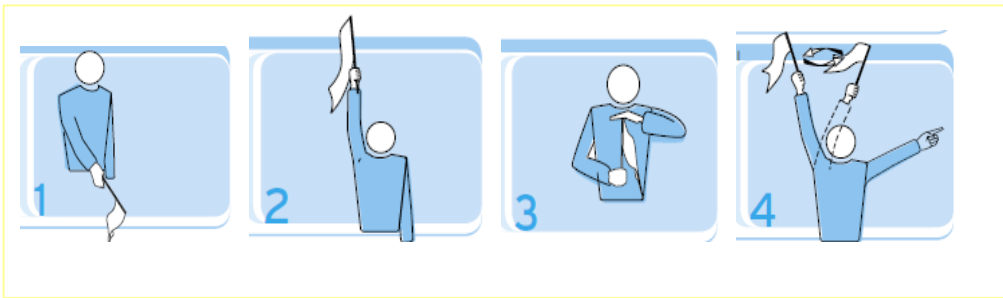
ボールイン、ボールアウトのシグナルは肘を伸ばす(図1・2)

ボールコンタクトのシグナルは、口の前でT字を作る。(図3)

アンテナ等に当たった場合は、旗を一往復。最初に外に上げて→内→外 肘から(図4)

シグナルを出すときは、旗の音が鳴るようにする。

旗は人差し指を立てて持つ。



④タイミング（ボールデットと同時に）

⑤一人一線を担当する

- ・ボール・インは担当ラインからコートの中2mまでは、必ずシグナルを出す。
- ・ボール・アウトは担当ラインからコートの外すべてについて、必ずシグナルを出す。
- ・ワンタッチは担当ラインからコートの外すべてについて、確認できたら必ずシグナルを出す。

⑥L1、L2、L3、L4の位置は、審判台から反時計まわりにL1、L2、L3、L4とする。L1とL3が縦のラインを担当する。

⑦アンテナ、アンテナ外側ネット、支柱、審判台などにボールが触れた場合、確認できたLJは旗を一往復。(図4)

⑧サーバーがエンドラインを踏んでサーブを打った時は、旗を一往復。(図4)

⑨サーバーがサイドライン外側に足を踏み出してサーブを打った時は、旗を一往復。(図4)

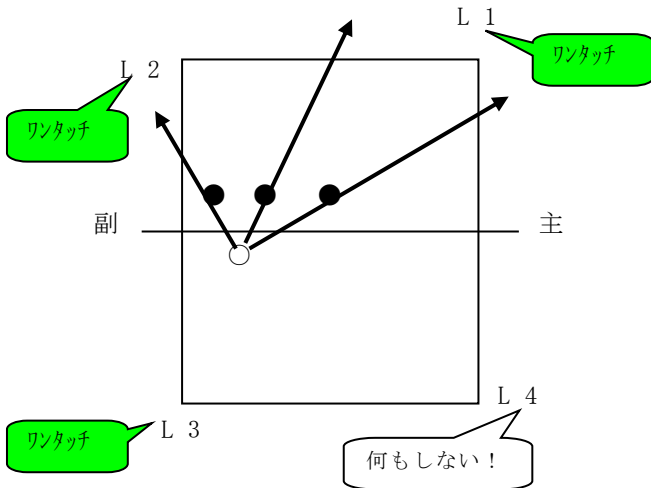
【レベル1】

①ワンタッチのシグナルを出すケース (○がアタッカー、●がブロッカーまたはレシーバー)

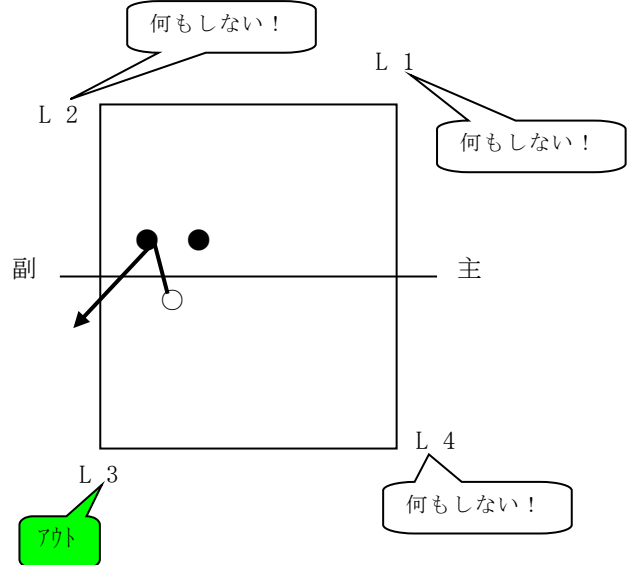
※自分の担当ラインに関係なくとも、ワンタッチを出すケースがたくさんある！

レフト側から打ったスパイク・ボールがブロックに触れて相手コートの外に出た場合。

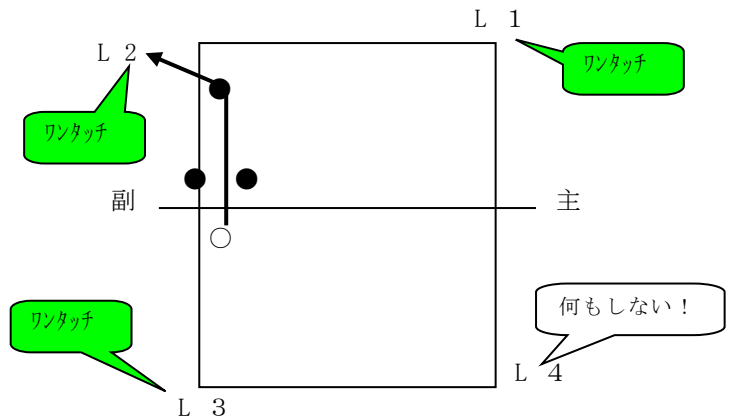
※ライト側はこの逆である (L4がワンタッチでL3は何もしない)



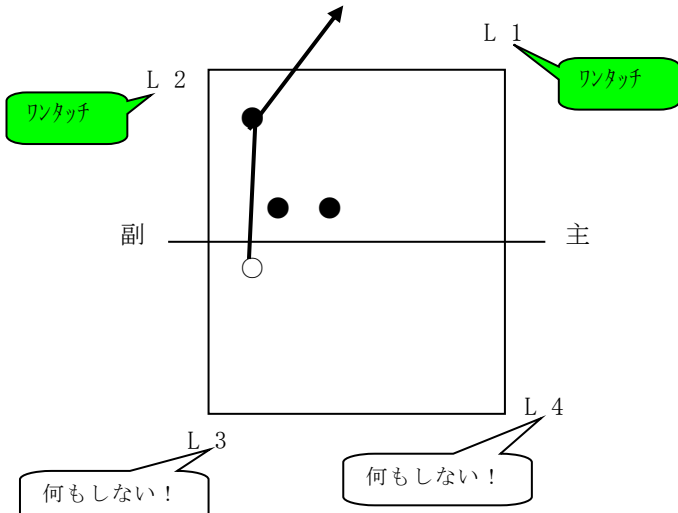
スパイク・ボールがブロックに触れてスパイク側サイド・ライン外に出た場合。



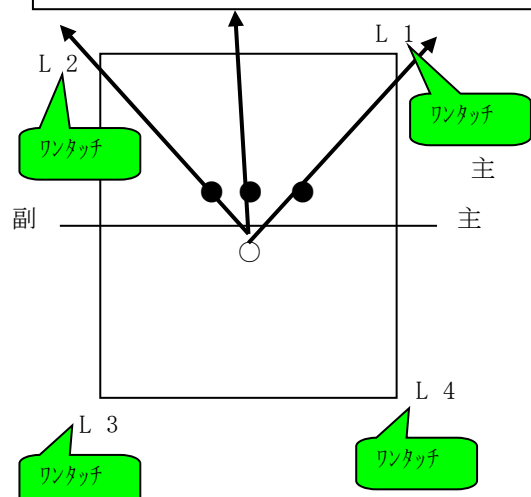
スパイク・ボールがレシーバーに触れてスパイク側サイド・ライン外に出た場合。



スパイク・ボールがレシーバーに触れてエンド・ライン外に出た場合。



センターから打ったスパイク・ボールがブロックに触れて相手コートの外に出た場合。(速攻・バックアタック等)



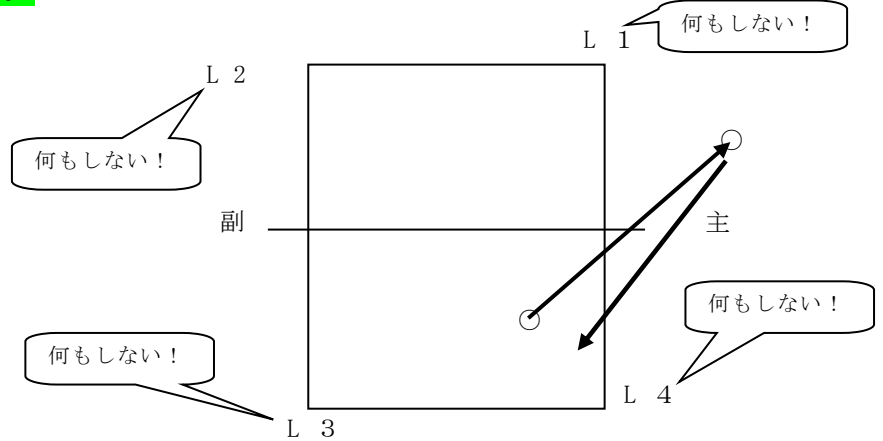
【レベル2】

①アンテナの取り戻しのケース

いわゆるアンテナの「外側」⇒「外側」のみOK（何もしない）

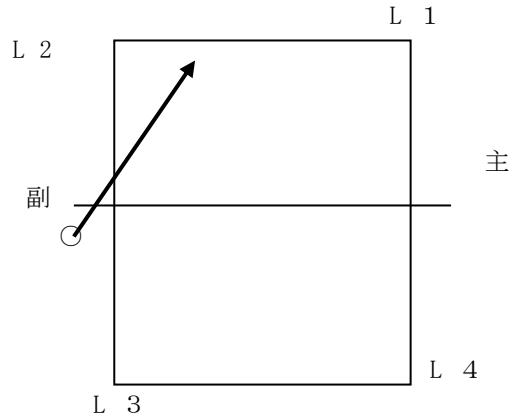
ダメなケースはすべて旗を振る。

外側⇒内側
内側⇒内側
内側⇒外側
がダメ！



②アンテナ外側から相手コートにボールが入って、プレーが続いた場合

確認できたLJは旗を一往復



【レベル3】

コートの中真ん中でも、ボールが落ちたかどうか主審が確認しにくいケース（いわゆる「パンケーキ」）の場合は、斜め前でパタパタと床をたたくようなシグナルを出す。

※ボールが落ちたコートのLJを出す。